

日出町教育委員会  
点検・評価報告書  
(平成30年度実施事業対象)



令和元年12月  
日出町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十六条の規定に基づき、平成30年度の教育委員会の点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

## — 目 次 —

### I 点検・評価制度の概要

1	点検・評価の趣旨	1
2	点検・評価の対象及び対象期間	1
3	点検・評価の方法	2

### II 教育委員会の会議等の状況

1	教育委員会の構成員	2
2	教育委員会開催状況	2
3	教育委員会審議状況	2
4	教育委員会会議以外の活動状況	3
5	教育委員会会議及び教育委員の活動実績 (1) 平成30年度 教育委員会会議開催実績	4
	(2) 平成30年度 教育委員活動実績	8

### III 施策の点検・評価

1	点検・評価の項目	14
2	点検・評価シートの記載方法	15
3	点検・評価のシート (1) 人権を尊重する社会づくり ①人権教育・啓発の推進	16
	(2) 幼稚園教育の充実 ①教育内容の充実 ②教職員の資質向上 ③施設・設備の充実 ④家庭・地域との連携 ⑤小学校との連携 ⑥預かり保育の充実	17 18 19 20 21 22
	(3) 義務教育の充実 ①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成 ④特別支援教育の充実 ⑤地域・家庭・学校との連携	23 24 25 26 27

⑥学校給食の充実	28
⑦施設・設備の充実	29
(4) 社会教育の振興	
①世代に応じた学習機会の提供	30
②子どもの健全育成	31
③公民館活動を通じた人・地域づくり	32
④図書館活動・サービスの充実	33
⑤子ども読書活動の充実	34
(5) 歴史・文化的資源の保存・活用	
①歴史・文化的資源の調査・研究	35
②歴史・文化的資源の保存・活用	36
③歴史・文化的資源の愛護・啓発	37
(6) 芸術・文化・スポーツの振興	
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	38
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	39
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進	40
④競技スポーツの推進	41
(7) グローバル人材の育成	
①グローバル人材の育成	42

#### IV 点検・評価第三者委員会の意見

1 点検・評価第三者委員会委員の構成	43
2 点検・評価第三者委員会会議の状況	43
3 平成30年度事業 点検・評価第三者委員会 委員の意見（総評）	
(1) 全体意見	44
(2) 各主要施策意見	44

## I 点検・評価制度の概要

### 1 点検・評価の趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号。以下「法」という。)の一部改正(平成19年6月公布)に伴い、各教育委員会において、法の規定に基づき、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出することが義務付けられました。

本町教育委員会では、平成29年度に終了した「第1期日出町教育振興計画」の成果と課題を検証するとともに日出町における教育の現状や国・県の動向を踏まえながら目指すべき教育の方向性を示し、具体的に実現していくために「第2期日出町教育振興計画」を策定しました。

各施策の実施に当たっては、年度毎にその進捗状況を点検及び評価することにより、各施策の展開について、必要な見直しを図るとともに、町民への説明責任を果たし、効果的な教育行政を推進することが重要であると考えています。

そこで、本町教育委員会では、「第2期日出町教育振興計画」の取組状況を基に、学識経験者の知見を活用し、法第26条の規定に基づく点検・評価を行い、ここに報告書をまとめました。

#### 【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たつては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 点検・評価の対象及び対象期間

#### (1) 対象

教育委員会の活動状況及び平成30年3月に策定した第2期日出町教育振興計画に掲げる具体的施策

(2) 対象期間

平成30年4月～平成31年3月

3 点検・評価の方法

- (1) 「第2期日出町教育振興計画」の各施策について、教育委員会が点検・評価を行う。
- (2) 点検・評価を行うに当たり、客観性及び透明性を高めるため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、報告書を作成する。
- (3) 報告書は、日出町議会に提出するとともに、ホームページ等に公開する。

## II 教育委員会の会議等の状況

1 教育委員会の構成員（平成31年3月末現在）

教育委員会は、地域の実情に応じた教育行政を行うことを目的として設置された行政委員会で、教育長と4人の委員から成る合議制の執行機関です。

職名	氏名	任期
教育長	堀 仁一郎	平成28年10月20日～令和元年10月19日
教育長職務代理者	木付 尚巳	平成30年10月 1日～令和4年 9月30日
教育委員	佐藤 公康	平成31年 3月26日～令和2年 3月25日
教育委員	阿部 雅子	平成28年 6月25日～令和元年 6月24日
教育委員	利光 弘文	平成29年 2月17日～令和3年 2月 5日

2 教育委員会開催状況（詳細は平成30年度教育委員会会議開催実績）

教育委員会の会議は、毎月行っている「定例教育委員会」と必要に応じてそれとは別に行っている「臨時教育委員会」がある。

平成30年度のそれぞれの開催状況については、平成31年3月末現在、定例教育委員会12回、臨時教育委員会2回となっている。

3 教育委員会審議状況（詳細は平成30年度教育委員会会議開催実績）

法第25条の規程に基づき、平成30年度は33件の議案について審議した。また、審議案件の他に68件の報告及びその他協議を行った。

4 教育委員会会議以外の活動状況（詳細は平成30年度教育委員活動実績参照）

教育委員は、教育委員会会議以外にも、各種行事への参加、学校訪問、他団体との会議等様々な活動を行っている。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（事務の委任等）

第二十五条 教育委員会は、教育委員会規則で定めるところにより、その権限に属する事務の一部を教育長に委任し、又は教育長をして臨時に代理させることができる。

2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる事務は、教育長に委任することができない。

- 一 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること。
- 二 教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること。
- 三 教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
- 四 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。
- 五 次条の規定による点検及び評価に関すること。
- 六 第二十七条及び第二十九条に規定する意見の申出に関すること。

3 教育長は、教育委員会規則で定めるところにより、第一項の規定により委任された事務又は臨時に代理した事務の管理及び執行の状況を教育委員会に報告しなければならない。

4 教育長は、第一項の規定により委任された事務その他その権限に属する事務の一部を事務局の職員若しくは教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員（以下この項及び次条第一項において「事務局職員等」という。）に委任し、又は事務局職員等をして臨時に代理させることができる。

## 5 教育委員会会議及び教育委員の活動実績

### (1) 平成30年度 教育委員会会議開催実績

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
平成30年4月3日 (火)	臨時会	議案 ①各学校の各種主任の承認について	承認
4月25日 (水)	定例会	議案 ①日出町教育委員会行政組織規則の一部改正について ②日出町立学校教職員の公務旅行における自家用車使用に関する取扱要領の改正について ③日出町教育振興計画について ④指定校変更について  報告 ①平成30年度教育委員会の事務分掌について ②日出町奨学金の認定状況について ③国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭での日出町開催内容について  その他 ①5月・6月行事予定について ②学校訪問の日程について ③小学校運動会・中学校体育大会の出席について ④第5回定例教育委員会開催日	承認 承認 見直し 承認
5月30日 (水)	定例会	議案 ①教職員の働き方改革の取り組みについて ②区域外就学について ③教科用図書採択協議会について ④日出町体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について  報告 ①広報「ひじ」教育委員会だよりについて ②学校訪問の日程について  その他 ①6月・7月行事予定について ②第6回定例教育委員会の開催日	承認 承認 承認 承認
6月26日 (火)	定例会	議案 ①日出町立中学校部活動指導員設置要綱について ②日出町教育振興計画について  報告 ①平成30年第2回定例議会について ②教育委員会学校訪問について ③フッ化物洗口について ④南端地区保護者アンケートについて ⑤学校施設内のブロック塀の点検について	承認 見直し

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
		その他 ①7月・8月行事予定について ②7月定例教育委員会の開催日	
7月24日 (火)	定例会	議案 ①日出町学校給食運営委員会規則の一部改正について ②日出町営体育館管理規則の一部改正について ③日出町文化財保護委員会への諮問について ④教科書採択について ⑤区域外就学について ⑥日出町教育振興計画について  報告 ①学力向上会議について ②大分県学力定着度調査について ③総合防災訓練について  その他 ①8月・9月行事予定について ②8月定例教育委員会の開催日	承認 承認 承認 承認 承認 承認
8月24日 (金)	定例会	議案 ①区域外就学について  報告 ①平成30年度全国学力・学習状況調査について ②第71回大分県民体育大会について ③平成29年度給食会計決算報告について  その他 ①9月・10月行事予定について ②9月定例教育委員会の開催日	承認
9月26日 (水)	定例会	議案 ①日出町就学援助認定要綱の一部改正について  報告 ①小学校の空調機器設置工事について ②「おおいた教育の日」推進大会について ③フッ化物洗口について ④大分県民体育大会の結果について ⑤南端小中学校の今後のあり方について意見交換会  その他 ①10月・11月行事予定について ②10月定例教育委員会の開催日	承認

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
10月29日 (月)	定例会	議案 ①教育長職務代理者の指名について ②日出町スポーツ傷害見舞金に関する条例の一部改正について	承認 承認
		報告 ①学校エアコン、ブロック塀の補助金について ②南端地区住民アンケートについて	
		その他 ①11月・12月行事予定について ②11月定例教育委員会の開催日	
11月28日 (水)	定例会	議案 ①日出町学校給食アレルギー対応の手引きについて ②平成30年度一般会計補正予算(第3号)について	承認 承認
		報告 ①日出町遠距離通学費補助内規の改正について ②学校給食センター建設事業の経過について ③その他	
		その他 ①12月・1月行事予定について ②12月定例教育委員会の開催日	
12月26日 (水)	定例会	議案 ①区域外就学について	承認
		報告 ①小学校エアコン設置事業について ②成人式について ③図書館運営協議会委員に選出について ④その他	
		その他 ①1月・2月行事予定について ②1月定例教育委員会の開催日について	
1月25日 (金)	定例会	議案 ①区域外就学について	承認
		報告 ①小中学校、幼稚園の卒業式等の出席者割当について ②第2回学力向上会議の日程と対応について ③その他	
		その他 ①2月・3月行事予定について ②2月定例教育委員会の開催日について	

会議開催日	区分	議事・報告(内容)	結果
2月21日 (木)	定例会	議案 ①区域外就学について ②指定校に変更について ③日出町教育委員会行政組織規則の改正について ④日出町立学校管理規則の改正について	承認 承認 承認 承認
		報告 ①平成31年度児童生徒数・学級数の見込みについて ②平成30年度町標準学力調査について ③日出町スポーツ傷害見舞金に関する条例の一部改正について ④日出町文化財保護委員会からの答申について ⑤南端小中学校あり方検討委員会からの報告について ⑥学校給食センター用地交渉の進捗状況について	
		その他 ①3月・4月学校行事予定について ②3月教育委員協議会の開催について	
3月7日 (木)	臨時会	議案 ①教職員の人事異動について	承認
3月26日 (火)	定例会	議案 ①区域外就学について ②平成31年度日出町学校教育指導方針について ③点検・評価第三者委員会委員について	承認 承認 承認
		報告 ①平成30・31年度教育予算について ②平成31年度日出町教育委員会学校教育指導方針説明会について ③その他	
		その他 ①4月5月行事予定について ②4月教育委員協議会の開催について	

(2) 平成30年度 教育長及び教育委員活動実績

活動実施日	区分	活動実績(内容)
平成30年4月1日	日	会議 臨時校長会
4月2日	月	式典出席 辞令交付式(視聴覚室)
4月2日	月	式典出席 年度始め式(大会議室)
4月3日	火	会議 日出町学校教育指導方針説明会(中央公民館)
4月4日	水	会議 臨時教頭会(教育会館)
4月6日	金	会議 学力向上推進委員会
4月9日	月	会議 議員懇談会
4月10日	火	式典出席 町立図書館来館者30万人達成記念品贈呈式
4月11日	水	式典出席 町内中学校入学式
4月12日	木	式典出席 町内小学校入学式
4月13日	金	式典出席 町内幼稚園入園式
4月16日	月	会議 臨時議会
4月19日	木	会議 第3回国民文化祭日出町実行委員会
4月20日	金	会議 第1回大分県市町村教育長会議
4月22日	日	行事 各地区体育祭
4月24日	火	式典出席 日出町歴史資料館・帆足萬里記念館再会館式典
4月25日	水	会議 定例校長会
4月26日	木	会議 定例教頭会
5月1日	火	会議 教育研究協議会運営委員会第1回定例会
5月8日	火	会議 日出町体育協会理事会
5月10日	木	会議 全国町村教育長会議(東京) 5/10~5/11
5月14日	月	会議 管内教育長会
5月15日	火	会議 日出町体育協会総会
5月16日	水	会議 日出町子ども会育成会連絡協議会総会
5月17日	木	会議 日出町文化協会総会
5月19日	土	行事 各中学校体育祭
5月19日	土	行事 第39回日出町地区対抗ソフトボール大会
5月24日	木	会議 郡人権・同和教育研究会総会
5月26日	土	行事 各小学校運動会
5月29日	火	会議 大分県人権教育研究協議会第30回通常総会
5月29日	火	会議 大分県市町村教育委員会連合会総会(はさま未来館)
5月31日	木	会議 定例校長会
6月2日	土	行事 郡中学校総合体育大会
6月5日	火	会議 定例教頭会

活動実施日	区分	活動実績（内容）
6月5日	火	会議 日出町スポーツ少年団総会
6月6日	水	会議 第1回教科用図書採択協議会
6月7日	木	会議 日出町議会定例会 6/7～6/25
6月8日	金	会議 部落解放同盟大分県連合会定期大会
6月14日	木	行事 萬里忌辰祭
6月14日	木	会議 日出町人権教育推進協議会理事会
6月18日	月	会議 日出中学校公開授業（数学）
6月21日	木	会議 第1回日出町立図書館協議会（町立図書館）
6月25日	月	会議 日出中校内研修
6月26日	火	会議 豊岡幼園内研修
6月27日	水	学校訪問 教育事務所学校訪問（大神中、大神小、支援センター）
6月27日	水	会議 給食センター用地に関する豊岡地区説明会
6月28日	木	学校訪問 教育事務所学校訪問（川崎小、日出小）
6月28日	木	会議 日出町人権教育推進協議会総会
6月28日	木	会議 第1回学校給食センター運営委員会
6月29日	金	学校訪問 教育事務所学校訪問（藤原小、日出中、豊岡小）
6月29日	金	会議 大神小校内研修
7月1日	日	行事 日出町選手権大会
7月2日	月	会議 定例校長会
7月3日	火	会議 生徒指導総合連携推進委員会
7月4日	水	会議 藤原小校内研修
7月4日	水	会議 国民文化祭実行委員会
7月4日	水	会議 給食センター用地に関する南端地区説明会
7月5日	木	学校訪問 教育委員会学校訪問（豊岡小・豊岡幼・大神小）
7月5日	木	会議 大神小公開授業（理科）
7月5日	木	会議 給食センター用地に関する大神地区説明会
7月6日	金	学校訪問 教育委員会学校訪問（川崎小・川崎幼・藤原幼・藤原小）
7月9日	月	学校訪問 教育委員会学校訪問（日出小・日出幼）
7月9日	月	会議 日出中公開授業（英語）
7月9日	月	会議 速見郡学校保健会総会
7月10日	火	学校訪問 教育委員会学校訪問（大神中・大神幼・日出中）
7月11日	水	会議 大神中校内研修
7月12日	木	会議 定例教頭会
7月12日	木	会議 第2回教科用図書採択協議会
7月12日	木	会議 給食センター用地に関する日出地区説明会
7月13日	金	会議 日出町社会教育委員の会

活動実施日	区分	活動実績（内容）
7月18日	水	会議 日出町人材育成研修会
7月19日	木	会議 給食センター用地に関する川崎地区説明会
7月21日	土	会議 襟江亭保存調査委員会
7月26日	木	会議 大分県市町村教育長協議会総会（由布市）
7月27日	金	会議 大分県小学校特別活動夏季研究大会速見大会
7月30日	月	式典出席 日独スポーツ少年団同時交流事業引継ぎ式
8月1日	水	会議 日出町幼稚園研修会
8月1日	水	会議 南端小中学校あり方検討委員会
8月2日	木	講演会 人権教育講演会（中央公民館ホール）
8月9日	木	会議 文化財保護委員会
8月18日	土	行事 第42回豊岡・森子ども交歓キャンプ
8月18日	土	行事 日出町納涼盆踊り大会
8月20日	月	会議 第45回九州地区人権・同和教育夏季講座 8/20～8/21
8月22日	水	会議 学力向上会議（豊岡小）
8月23日	木	式典出席 株トキハインダストリー寄贈書籍寄付贈呈式（図書館）
8月23日	木	式典出席 県民体育大会速見郡選手団結団式
8月27日	月	行事 日出町イングリッシュ・デイ（南端小・中）
8月28日	火	講演会 差別をなくす人権講演会
8月30日	木	会議 若手教職員「人権・同和教育」研修会
8月31日	金	会議 定例校長会
9月2日	日	行事 総合防災訓練
9月3日	月	会議 日出町議会定例会 9/3～9/28
9月3日	月	式典出席 日出町功労者表彰式（尾畠春夫氏）
9月7日	金	会議 定例教頭会
9月8日	土	行事 第71回大分県民体育大会（佐伯市総合体育館） 9/8～9/10
9月10日	月	会議 給食センター用地に関する藤原地区説明会
9月11日	火	会議 川崎小校内研修
9月12日	水	会議 日出小校内研修
9月13日	木	会議 学力向上推進委員会
9月18日	火	会議 習熟度別推進教員授業（豊岡小）
9月19日	水	会議 豊岡小校内研修
9月20日	木	会議 九州地区人権・同和教育夏季講座総括会議
9月23日	日	会議 日出町交通安全大会
9月25日	火	会議 大神幼園内研修
9月27日	木	会議 日出幼園内研修
9月27日	木	会議 日出町国民文化祭実行委員会

活動実施日	区分	活動実績（内容）
9月28日	金	会議 川崎幼稚園内研修
10月1日	月	会議 定例校長会
10月1日	月	会議 授業日の見直しに係る意見交換会
10月1日	月	会議 日出町体育協会表彰審議会
10月2日	火	会議 藤原幼稚園内研修
10月4日	木	会議 定例教頭会
10月4日	木	会議 日出町調整会議
10月6日	土	講演会 歴史講演会・鳥居石石丁場公開体験
10月6日	土	行事 おおいた大茶会オープニング
10月7日	日	行事 生涯スポーツフェスタ
10月9日	火	会議 南端小中学校あり方地元意見交換会（南端小中学校体育館）
10月10日	水	会議 九州都市教育長協議会
10月11日	木	会議 ザビエルの道ウォーキング大会実行委員会
10月12日	金	会議 日出町教育研究協議会運営委員会
10月15日	月	会議 大神中研究授業（理科）
10月16日	火	会議 日出町調整会議
10月19日	金	会議 学力向上支援教員授業（日出小）
10月20日	土	会議 大分県人権教育研究会
10月21日	日	行事 ザビエルの道ウォーキング大会
10月22日	月	会議 日出町人権フェスティバル実行委員会
10月26日	金	会議 大分県書写教育研究大会速見大会
10月30日	火	会議 図書館協議会
10月31日	水	会議 大分県市町村教育長会議
11月1日	木	会議 おおいた教育の日推進大会（グランツたけた）
11月2日	金	会議 新春健康マラソン大会実行委員会
11月3日	土	式典出席 日出町功労者表彰式
11月4日	日	行事 瀧廉太郎記念音楽祭
11月5日	月	会議 定例校長会
11月6日	火	会議 学力向上支援教員授業（日出中数学）
11月6日	火	会議 学校給食センター建設調整会議
11月7日	水	会議 川崎小校内研
11月8日	木	会議 習熟度別指導推進教員授業（日出中英語）
11月9日	金	会議 定例教頭会
11月9日	金	会議 管内教育長会議
11月10日	土	会議 日出町P.T.A連合会研修会
11月11日	日	行事 ふるさとまつり（豊岡地区）

活動実施日	区分	活動実績（内容）
11月12日	月	学校訪問 教育事務所学校訪問（大神小、大神中）
11月13日	火	会議 大分県小学校長会研究大会速杵大会
11月14日	水	学校訪問 教育事務所学校訪問（川崎小、藤原小）
11月14日	水	会議 大神中校内研
11月15日	木	学校訪問 教育事務所学校訪問（日出中、日出小、豊岡小）
11月16日	金	会議 日出小校内研
11月17日	土	式典出席 日出町こども文化の祭典
11月18日	日	式典出席 第43回児童文化祭
11月21日	水	会議 豊岡小校内研
11月22日	木	会議 初任研授業（豊岡小）
11月25日	日	式典出席 おおいた大茶会フィナーレ
11月27日	火	会議 大分県人権教育研究協議会（日田市）
11月28日	水	会議 大神小校内研
11月29日	木	会議 初任研授業（川崎小）
11月29日	木	会議 習熟度別指導推進教員授業（豊岡小）
12月4日	火	会議 日出町議会定例会 12/4～12/20
12月8日	土	会議 日出町人権フェスティバル
12月8日	土	行事 日出町子ども会対抗綱引き大会
12月11日	火	会議 定例校長会
12月11日	火	会議 学力向上支援教員授業（日出小）
12月14日	金	会議 日出町行財政改革推進本場会議
12月16日	日	式典出席 自治公民館落成式（則次地区）
12月17日	月	会議 定例教頭会
12月27日	木	会議 日出町調整会議
12月28日	金	式典出席 仕事納め式
1月4日	金	式典出席 仕事始め式
1月4日	金	式典出席 新年祝賀互礼会
1月10日	木	会議 初任研授業（日出中）
1月12日	土	式典出席 消防団特別点検（日出中グラウンド）
1月13日	日	式典出席 日出町成人式（中央公民館）
1月15日	火	会議 初任研授業（豊岡小）
1月17日	木	会議 日出町人権施策推進審議会
1月18日	金	会議 学力向上支援教員授業（日出中数学）
1月18日	金	会議 食物アレルギー対応基本方針説明会
1月19日	土	行事 文化財防火デー文化財防火訓練（鬼門櫓、資料館）
1月21日	月	会議 日出町行財政改革推進本部会議

活動実施日	区分	活動実績（内容）
1月23日	水	会議 速見郡人権同和教育研究大会（日出中）
1月24日	木	会議 市町村教育長会議
1月27日	日	行事 日出町新春健康マラソン（大神漁港周辺）
1月28日	月	会議 定例校長会
1月29日	火	会議 学力向上支援教員授業（大神小理科）
1月31日	木	会議 いじめ問題対策連絡協議会
2月1日	金	会議 大分県人権教育研究協議会理事会
2月4日	月	会議 定例教頭会
2月7日	木	会議 給食センター建設調整会議
2月8日	金	会議 大分大学教職大学院教育実習運営協議会
2月12日	火	会議 日出町教育研究協議会運営委員会
2月13日	水	会議 南端小中学校あり方検討委員会
2月18日	月	会議 日出町調整会議
2月18日	月	会議 ALT業者委託に係るプロポーザル審査委員会
2月19日	火	会議 学力向上会議（豊岡小）
2月21日	木	会議 日出町人権施策推進審議会
2月25日	月	会議 定例校長会
2月26日	火	会議 日出町議会定例会 2/26～3/20
3月1日	金	会議 行財政改革推進本部会議
3月4日	月	会議 生徒指導総合連携推進委員会
3月8日	金	式典出席 中学校卒業式
3月9日	土	会議 管内教育長会
3月10日	日	行事 自治公民館実践発表会（団地西）
3月14日	木	会議 学校給食運営委員会
3月15日	金	式典出席 幼稚園卒園式
3月19日	火	会議 図書館協議会
3月22日	金	式典出席 小学校卒業式
3月28日	木	会議 スポーツ傷害見舞金審査会
3月29日	金	式典出席 教職員・事務局職員退職者辞令交付式
3月29日	金	会議 臨時校長会

### III 施策の点検・評価

#### 1 点検・評価の項目

項目番号	基本目標	基本的施策	担当課	振興計画該当頁
1	人権を尊重する社会づくり	①人権教育・啓発の推進	生涯学習課	1
2	幼稚園教育の充実	①教育内容の充実	学校教育課	2
		②教職員の資質向上	学校教育課	2
		③施設・設備の充実	教育総務課	3
		④家庭・地域との連携	学校教育課	3
		⑤小学校との連携	学校教育課	4
		⑥預かり保育の充実	教育総務課	5
3	義務教育の充実	①確かな学力の育成	学校教育課	6
		②豊かな心の育成	学校教育課	9
		③健やかな体の育成	学校教育課	10
		④特別支援教育の充実	学校教育課	12
		⑤地域・家庭・学校との連携	学校教育課	13
		⑥学校給食の充実	給食センター	14
		⑦施設・設備の充実	教育総務課	16
4	社会教育の振興	①世代に応じた学習機会の提供	生涯学習課	17
		②子どもの健全育成	生涯学習課	17
		③公民館活動を通じた人・地域づくり	生涯学習課	18
		④図書館活動・サービスの充実	図書館	19
		⑤子ども読書活動の充実	図書館	20
5	歴史・文化的資源の保存・活用	①歴史・文化的資源の調査・研究	文化振興室	21
		②歴史・文化的資源の保存・活用	文化振興室	22
		③歴史・文化的資源の愛護・啓発	文化振興室	23
6	芸術・文化・スポーツの振興	①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興	生涯学習課	24
		②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実	生涯学習課	24
		③ライフステージ(世代)に応じたスポーツの推進	生涯学習課	25
		④競技スポーツの推進	生涯学習課	27
7	グローバル人材の育成	①グローバル人材の育成	学校教育課	29

## 2 点検・評価シートの記載方法

- 点検・評価については、第2期教育振興計画に定める基本目標である
  - ・人権を尊重する社会づくり
  - ・幼稚園教育の充実
  - ・義務教育の充実
  - ・社会教育の振興
  - ・歴史・文化的資源の保存・活用
  - ・芸術・文化・スポーツの振興
  - ・グローバル人材の育成
- 以上の事務事業を点検・評価する。
- 「点検・評価」対象事業（基本施策）一つについて、1ページを原則とした。
- 「点検・評価」対象事業が複数課にまたがる場合は、「取りまとめの課」を記載した。
- 「点検・評価」対象事業ごとに、「基本施策」、「施策の目的、ねらい」、「平成30年度の取組実績、事業内容」「成果・課題及び目標」について事業の担当課が素案を作成し、教育委員の点検・評価を（内部評価）として記載した。  
学識経験者からいただいた意見については、点検・評価第三者委員会（外部評価）の意見として記載した。

### ※評価基準ランク解説

5	妥当性・効率性・有効性に優れ、十分成果が上がっている。
4	妥当性・効率性・有効性に優れ、成果が上がっている。
3	成果が十分上がっておらず、改善の余地がある。
2	成果が上がっておらず、抜本的改革が必要である。
1	成果が上がっておらず、要廃止検討の必要がある。

## 基本目標

## 「人権を尊重する社会づくり」

## 1. 基本的施策

## ①人権教育・啓発の推進

## 2. 施策の目的、ねらい

人権問題の解決には教育が大きな役割を担っている。

学校教育においては家庭・地域との連携を深め、人権を尊重する生活習慣や態度の育成に努め、社会教育については生涯学習の視点に立った人権教育・啓発が必要であり、人権意識や学習ニーズを的確に把握し学習機会の充実に努める。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

日出町人権教育啓発推進協議会を組織し、目的達成に必要な事業を行っている。

- ・人権講座の開催 年 回
- ・差別をなくす人権講演会の開催
- ・人権フェスティバルの開催
- ・人権チラシ、人権だよりの発行
- ・人権ポスター、標語、作品の募集、表彰
- ・講座の一コマに人権に関する学習を織り込んで実施
- ・人権コーナーの設置

## 4. 成果・課題及び目標等

成 果	各事業とも充実してきている。 講座やフェスティバル終了後に意識調査を実施した。	
課 題	参加者の拡大（一般参加者・企業への呼びかけ） ファシリテーターの育成	
目 標	住民の意識向上のための取り組みの強化。 地区公民館を中心とした取り組みができる体制づくり。 講演会・講座の充実。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	企業を含めた町全体の啓発を促進する余地がある。 意識調査を実施し改善に努めている。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策

①教育内容の充実

2. 施策の目的、ねらい

幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成し、実施するとともに、地域との連携、地域資源の活用を図りながら、社会性を培う幼児教育の推進に努める。

3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

- 幼稚園教育要領に沿った適切な教育課程を編成・実施
- 地域との連携、地域資源の活用を図る。
- 幼稚園教育において 育みたい資質・能力の育成に努める。

4. 成果・課題及び目標等

成 果	幼稚園教育要領を踏まえた創意工夫に基づく教育活動の充実	
課 題	園内研修	
目 標	全ての町立幼稚園で、園内研修を実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	各幼稚園で園内研修を実施。小学校との接続を意識した協議会も行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
②教職員の資質向上		
2. 施策の目的、ねらい		
園内研修や園外研修、各種講座への積極的な参加を促進し、教職員の資質の向上に努める。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等		
○各園の研究主題に沿った園内研修を計画的に進め、各園共通する重要なテーマについては、横断的に情報を共有し、関係機関とも連携を図った。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	幼稚園教育要領にある「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を意識した研修内容の充実	
課 題	園内研修	
目 標	全ての町立幼稚園で毎年度園内研修を実施	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	園内研修の実施とともに、日出町幼稚園教員育成指標による教職員の資質・能力について振り返りを行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
③施設・設備の充実		
2. 施策の目的、ねらい		
施設や遊具の点検・維持・補修を行うことにより、園児の安全・安心な生活環境を整備する。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険ブロック塀撤去、フェンス設置工事 (豊岡幼稚園、日出幼稚園)</li> <li>・緊急通報装置設置事業 (藤原幼稚園、川崎幼稚園、大神幼稚園)</li> <li>・大神幼稚園屋根防水工事</li> <li>・その他老朽化修繕工事</li> </ul>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	危険ブロック塀の撤去については迅速に対応ができた。 緊急通報装置を全園に整備することができた。 老朽化対策は随時、対応することができている。	
課 題	例年、年度末に実施している遊具点検は消費税増税を見込み、年度当初に実施することとしたため30年度は未実施である。次年度に早急に取り組む必要がある。	
目 標	園児にとって安全・安心な施設環境を整備していく。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	危険ブロックや防犯対策などの喫緊の課題については、早期の対策が実施できている。その他、施設、設備の老朽化は園と連携して随時、対策を行うことができている。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
④家庭・地域との連携		
2. 施策の目的、ねらい <p>「園だより」や連絡帳等を活用して子どもたちの様子を知らせることや、直接話し合うなど、保護者との連携を密にし、共通理解を図る。また、地域に情報発信するとともに地域と積極的な交流を図ることは、子どもたちの成長にも有効であると考えられ、今後も交流を進めていく。</p>		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等 <p>園から保護者に向け、積極的に情報を発信することによりコミュニケーションづくりを進めた。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	「園だより」による情報の発信や、園公開により地域に開かれた園づくりを行った。	
課 題	園公開	
目 標	全町立幼稚園で毎年度実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全ての町立幼稚園で園公開を行った。

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑤小学校との連携		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>小学校生活に適応できない「小1プロブレム」の発生率は、調査を開始した平成21年度から年々減少しつつあるものの、引き続き幼稚園教育と小学校教育の、円滑な接続を図る必要があります。また、平成29年に改訂された幼稚園教育要領についても学習を深め、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を小学校と共有する必要がある。</p>		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等		
小1プロブレムの防止について、幼稚園、小学校との連携を図り、合同研修・情報交換会を開催した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	小学校1年の担任が園内研究会への参加を行うことにより、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」について捉えることができた。	
課 題	保育参観の実施（年1回）	
目 標	低学年の担任が、保育参観を行った学校の割合60%	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	低学年の担任が、保育参観を行った学校の割合60%

基本目標 「幼稚園教育の充実」

1. 基本的施策		
⑥預かり保育の充実		
2. 施策の目的、ねらい 核家族化などにより保護者の託児ニーズが増加していることから、子育てを支援するため預かり保育の充実を図る。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等  利用者数 常時預かり 延べ984人（前年比131人増） 臨時預かり 延べ143人（前年比106人減）		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	共働き等の事情により長時間の保育を必要とする保護者のニーズに応えることができている。	
課 題	幼児教育・保育の無償化に伴い、保護者ニーズの動向を的確に把握していく必要がある。 また支援員の確保も徐々に難しくなってきている。	
目 標	園児の健全な発達を図り、保護者の子育てを支援する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全園で預かり保育を継続実施して、希望者全員が利用できる体制を維持することができた。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
①確かな学力の育成		
2. 施策の目的、ねらい  学習習慣の定着や低学力層の底上げのため、習熟度別指導、少人数指導や各校の実態に合わせた補充学習等を行い、授業における習熟の程度に応じた指導の充実を図る。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等  ○日出町標準学力調査 ○大分県学力定着状況調査 ○全国学力・学習状況調査		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	日出町標準学力調査において、全ての教科で全国平均を上回った。	
課 題	小4、小5の算数及び中1、中2の社会において、弱い分野が見受けられる。	
目 標	日出町標準学力調査 正答率60%未満の児童生徒の割合（小5：20%以下、中2：30%以下）を全教科で達成する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全ての教科において、全国平均を上回ったが、中学校では、正答率60%は達成が難しい。来年度は、中学校の目標を「正答率50%未満の生徒の割合を30%以下とする」と変更する。

基本目標 「義務教育の充実」

1. 基本的施策		
②豊かな心の育成		
2. 施策の目的、ねらい 道徳の時間を要として、学校の教育活動全体を通して豊かな人間性や公徳心、社会性を育む道徳教育の充実に努めます。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等 小・中学校における道徳の授業		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	各学校で重点目標を設定し、その目標に沿った授業内容の工夫を行い、道徳の授業を年間35時間以上実施した。	
課 題	各学校の重点目標に沿った授業内容の工夫と、道徳の年間授業時数35時間以上の確実な実施。	
目 標	全小・中学校で実施する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全小・中学校で、学校ごとの重点目標に沿った授業内容の工夫を行い、道徳の授業を年間35時間以上実施した。

基本目標

「義務教育の充実」

1. 基本的施策

③健やかな体の育成

2. 施策の目的、ねらい

全国の体力・運動能力調査では日出町の小学校の平均値が、項目によっては大分県の平均値を下回っていることが、課題としてあげられる。各校では、児童生徒の実態に合わせた目標を設定し、体力向上に向けた独自のメニューを作成する1校1実践の取組を進める。

3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

各校で体力向上プランを作成し、推進委員を中心に取組を進めた。特に、小学校では、体育専科教員を町内に1名配置し、全小学校の指導にあたった。

4. 成果・課題及び目標等

成 果	H30年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の低体力層の割合において、小5男女、中2男女のいずれも全国平均を上回った。	
課 題	小5男子の低体力層の割合が大分県の平均を下回った。	
目 標	低体力層の割合を15%未満とする。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	上記調査において、小5男子以外は、目標を達成した。

## 基本目標

## 「義務教育の充実」

## 1. 基本的施策

## ④特別支援教育の充実

## 2. 施策の目的、ねらい

各校の特別支援学級に在籍する児童生徒に対し、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成し、一人一人の障がいの状況・特性等を考慮したきめ細かな指導を行う。また、通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒についても、「個別の指導計画」を作成する。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

- 特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の作成
- 通常学級に在籍する支援の必要な児童生徒の「個別の指導計画」の作成

## 4. 成果・課題及び目標等

成 果	全小・中学校で実施できた。	
課 題	'個別の指導計画' 「個別の教育支援計画」をもとに、一人一人の障がいの状況を考慮したきめ細かな指導・支援を確実に実施	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特別支援学級に在籍する児童生徒の「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成</li> <li>○通常学級に在籍する支援が必要な児童生徒の「個別の指導計画」を作成</li> </ul>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全小・中学校で、全ての該当児童生徒について計画の作成を行った。

基本目標

「義務教育の充実」

1. 基本的施策

⑤地域・家庭・学校との連携

2. 施策の目的、ねらい

地域、家庭との連携を図るため、学校運営協議会を設置し、保護者や地域住民とともに、子どもたちの豊かな成長を支える取組を進める。

3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

○学校運営協議会を全小・中学校に設置し、地域・家庭との協働・連携を図る。

4. 成果・課題及び目標等

成 果	全小・中学校で、学校運営協議会を設置し、地域・家庭との連携を図った。	
課 題	学校運営協議会の活動内容について、家庭や地域への広報が十分でない。	
目 標	学校運営協議会の活動内容について学校だより等でお知らせする。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	全小・中学校で学校運営協議会の活動内容について、学校だより等でお知らせを行った。

## 基本目標

## 「義務教育の充実」

## 1. 基本的施策

⑥学校給食の充実

## 2. 施策の目的、ねらい

学校給食法に基づき、給食による子どもたちの心身の健全な発達に取り組む。また、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため、学校給食を活用した食に関する指導をはじめとした、食育の推進を図る。

学校給食衛生管理基準に則り、学校給食センターの施設・設備の日頃からの点検と調理過程における衛生管理体制の徹底と充実を図る。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

学校給食を教材として、授業や特別活動を通じて食指導に取り組んだ。地場産物の生産や食にかかわる人々の様々な活動を子どもたちに伝えるため、野菜等生産農家を訪問した。この内容は、「食」の情報として、定期的に給食ニュース（紙媒体）等で提供し、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得してもらう事で、「食育」の推進につながったと考える。

施設・設備については、調理前後に必ずチェックをし、衛生管理上支障がないよう徹底した。調理過程では、自社研修実施報告書を通して衛生知識や安全運行業務を習得する努力が見られた。

また本年度は、災害や給食事故等を想定しこれに対応するため、救給カレーを導入し幼稚園・小学校・中学校すべてに備蓄した。

## 4. 成果・課題及び目標等

## 成 果

食指導や「食」に関する情報を提供することで、食育に対し少しでも関心を持つてもらう事が出来たと考える。また、残菜量は、昨年度より減少した。

## 課 題

施設の老朽化による日常的かつ突然の修繕等、日々の給食提供に不安を抱えている。新施設への移転が急務であり、教育委員会のみならず関係部署が連携した組織体制の強化が重要である。

## 目 標

- 1 施設・設備については、チェック体制を強化し、安全・安心でおいしい学校給食を提供する。
- 2 すべての学校において一人一日当りの残菜量を20g以下にする。

## 5. 点検・評価

## 評価

## 評価の説明

## 内部評価

4

平成25年度に導入した民間委託の調理・配達業務は、年々安定した成果が見られている。手作りメニューを増やしながら調理の迅速化が図れた事もその一例である。

また、昨年度実施した、小3・小6・中2を対象にした給食アンケートを本年度も実施（7月）し、保護者向け試食会についても毎月1回開催している。子どもや保護者の声も参考にしながら、献立等、学校給食の充実を図っている。

## 基本目標

## 「義務教育の充実」

## 1. 基本的施策

## ⑦施設・設備の充実

## 2. 施策の目的、ねらい

- ・児童・生徒の安全を確保し、安心して学べる環境を整備する。
- ・教育環境の充実を図る為、小学校に空調の整備を実施することにより、生徒が快適な環境で集中して学習できるように、教育環境の質的な向上を図る。
- ・老朽化した施設の維持、補修を計画的に実施していく。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

- ・空調設備設置整備事業  
(日出小、藤原小、川崎小)

- ・照明LED化工事  
(藤原小、川崎小)

- ・理科室実験台改修工事  
(藤原小)

- ・危険ブロック塀撤去、フェンス設置工事  
(藤原小、川崎小、大神小、日出中、大神中)

## 4. 成果・課題及び目標等

- |     |   |
|-----|---|
| 成 果 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備を設置することにより快適な教育環境を整備することができた。</li> <li>・危険ブロック塀については、迅速な対応ができた。</li> <li>・老朽化した施設、設備の改修を随時、実施することができた。</li> </ul> |
|-----|---|

- |     |   |
|-----|---|
| 課 題 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡小、大神小の空調設備を早急に整備する必要がある。</li> <li>・学校施設の環境整備はいまだ不十分な個所も多く、財政面を考慮しながら計画的に実施していく必要がある。</li> </ul> |
|-----|---|

- |     |   |
|-----|---|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・空調設備の全校設置を次年度に完了させ、他の施設整備に取り組みたい。</li> <li>・長寿命化計画を策定して長期的な改修計画を立てる。</li> </ul> |
|-----|---|

## 5. 点検・評価

## 評価

## 評価の説明

内部評価

4

空調設備も残り2校となり、次年度に向けて一定の目途が付き危険ブロック塀についても迅速な対応ができている。老朽化対策については児童生徒の安全面を優先した補修工事を実施している。

基本目標 「社会教育の振興」

1. 基本的施策

①世代に応じた学習機会の提供

2. 施策の目的、ねらい

町民の生涯にわたる学習機会を確保するため、住民のニーズを反映した各種学級・講座・教室等の開設、自主グループ活動の育成、必要な情報の提供、指導体制の確立を図り、生涯学習の充実に努める。

3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

中央公民館

- ・公民大学講座 年6回開催
- ・主催教室 6教室（歴史教室、カメラ教室、しめ縄等）
- ・自主教室 35教室

地区公民館

- ・家庭教育講座 各地区2回 計10回程度
- ・高年者学級 各地区2～3回 実施（6地区）

4. 成果・課題及び目標等

成 果	住民のニーズを反映した各種学級・講座・教室等の開設を行った。	
課 題	受講生がいずれは講師になり、知識・技術を広げていくことが望まれるが、一部でしか実践できていない。	
目 標	各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の教育力の向上に貢献する社会の構築を目指す。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	幅広い世代の参加が望まれる。 身近な地域課題等の解決へつなげていく学習活動支援が望まれる。

## 基本目標

## 「社会教育の振興」

## 1. 基本的施策

②子どもの健全育成

## 2. 施策の目的、ねらい

核家族化や地域コミュニティの希薄化等、青少年を取り巻く環境が変化しています。青少年が明るく育つ環境をつくりあげるため、家庭・学校・地域との連携を図るとともに、自治会を基盤とする単位子ども会活動の活性化を図る各種事業を計画・実施します。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

子ども会育成会連絡協議会と連携して事業を実施。

- ・子ども会スポーツ大会は、酷暑のため中止
- ・児童文化祭
- ・子ども会対抗綱引大会
- ・夏休み子ども教室
- ・ジュニア・リーダー研修会など

## 4. 成果・課題及び目標等

成 果	各単位子ども会において、子ども、保護者、地域住民で連携し、充実した子ども会活動が自主的に展開された。	
課 題	行政主導の取り組みが中心で、地域の中で主体的な青少年健全、育成活動が広がっていない。	
目 標	家庭・地域・学校が一体となった青少年健全育成町民会議の推進。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	地区推進委員が地域の中で主体的に行動していく体制ができていない。

## 基本目標

## 「社会教育の振興」

## 1. 基本的施策

③公民館活動を通じた人・地域づくり

## 2. 施策の目的、ねらい

自治公民館、単位子ども会など地域コミュニティにおいて自主的な活動を行っている組織の役員・リーダー等を対象とした研修会を実施し、地域の指導者として必要な資質向上を図ることで、地域の教育力の向上を図る。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

- ・子ども会指導者研修会の開催（6/14、育成者94名参加）
- ・子ども会リーダー研修会の開催（6/14、リーダー112名参加）
- ・自治公民館長・主事研修会の開催（年3回実施①5/30、②10/24、③2/8）

## 4. 成果・課題及び目標等

成 果	子ども会育成会連絡協議会や自治公民館連絡協議会と連携して研修会を実施し、地域における指導者の育成を図った。	
課 題	社会教育専門職員として専門的に職務に携わるのは難しい。すぐには成果がでにくいことが多いため、継続した取り組みが必要である。	
目 標	担当職員一人ひとりが社会的要請及び地域課題を把握できるよう行動する。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	研修会は計画どおりに開催しており、各単位子ども会や各自治公民館では活躍をしているが、教室等の指導者になるまでには至っていないのが現状である。

## 基本目標

## 「社会教育の振興」

## 1. 基本的施策

④図書館活動・サービスの充実

## 2. 施策の目的、ねらい

図書館は、単に本を貸し出すだけではなく、日出町の人財育成に欠かせない役割を担う場所であり、町立図書館は、従来の図書館のイメージにとらわれない、コミュニティーセンター的な役割を持たせ、「子どもから大人まで全ての町民が集い、学び、交流する」文教の町「ひじ」にふさわしい「交流と学びの拠点」を基本理念とし、町民のニーズを取り入れながら、町民とともに育つ、新しい情報発信の拠点となるような図書館運営を目指す。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

## 1) 利用者の生涯学習を支える資料の収集と提供

①地域課題に対応した資料の収集に努め、地域の情報拠点としての役割を果たす。

## 2) 郷土資料の収集保存と提供

①日出町に関する資料及び出版物の収集保存を行う。

## 3) 広報活動の充実

①町報、ホームページ、図書館だより等を通じて、行事や新着図書等を周知する。

## 4. 成果・課題及び目標等

## 成 果

町民ニーズを取り入れながらの資料収集ができ、広報を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。

## 課 題

全ての町民が集い、学び、交流する「交流と学びの拠点」を目指す。

## 目 標

新たな情報発信の拠点となるような図書館を目指す。

## 5. 点検・評価

## 評価

## 評価の説明

## 内部評価

4

町民ニーズを取り入れながらの、本の展示・収集ができ、広報を通じて、行事や新着図書等の周知ができた。

## 基本目標

## 「社会教育の振興」

## 1. 基本的施策

⑤子ども読書活動の充実

## 2. 施策の目的、ねらい

今の子どもたちは、周囲にテレビやゲームなど楽しい物がたくさん溢れ、また塾 やスポーツクラブなどに通っていたりと、とても忙しい日々を送っていて、図書館 でゆっくり本を読むようなゆとりはない。しかし、次世代を担う子どもたちの教育には、読解力や創造力、思考力、表現力など生きていく上には必要不可欠であり、それらのことを学ぶには、読書はなくてはならないものである。そのためには、その子どもたちにあらゆる場所であらゆる機会に、読書のできる環境をつくり整備する必要があると考える。

## 3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

毎月第2・4土曜日には、乳幼児から幼稚園児を対象としたブーフーーによる「読み聞かせ」

毎月第4土曜日には、乳幼児を対象としたFUMFUM（ふむふむ）による「読み聞かせ」  
9月から2月まで町内各幼稚園へブーフーーによる「読み聞かせ」

毎月第3木曜日には、4ヶ月児対象の「ブックスタート」

毎月第3金曜日には、手づくり絵本の会による「布絵本つくり」

夏休み期間には、町内小中学校生を対象にした「読書感想文・感想画コンクール」

## 4. 成果・課題及び目標等

## 成 果

定着した行事として一定の成果をあげている。

## 課 題

魅力ある行事の実施と参加者へのPR、参加者の増加

## 目 標

新しい行事計画の実施及び広報活動を充実させることによる参加者の拡大

## 5. 点検・評価

## 評価

## 評価の説明

## 内部評価

4

乳幼児から小学生の読者の増大とともに乳幼児の保護者層が増大した。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
①歴史・文化的資源の調査・研究		
2. 施策の目的、ねらい <p>日出町には、特色ある歴史・文化が育まれ、これを物語る文化遺産が各地区に数多く所在しています。文化遺産の収集・調査・研究を通じ、郷土の歴史・文化、先哲を象徴する文化財・歴史資料として保護価値を定め、次の世代に守り伝えていきます。</p>		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等 <p>横津御廟（日出藩主3代木下俊長墓）を町記念物（史跡）の文化財指定を行いました。また、日出藩御茶屋襟江亭の文化財価値を検証する保存調査事業を継続実施したほか、新たに願成就寺蔵懸仏（銅造・木造）が九州圏内でも希少な現存事例であるとして、文化財調査に着手しました。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	横津御廟（日出藩主3代木下俊長墓）を、藤原地区・日出町の歴史を象徴する新たな文化財として指定保護を図ることができました。	
課 題	文化財としての保護評価に至るまで、複数年の調査期間を要します。	
目 標	中・長期的にスケジュールを組み立て、文化財調査を実施し、年間1件の文化財指定・登録を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	日出町、更には大分県の歴史を象徴する文化財を、新たに指定保護及び候補抽出することができました。いずれも日出町を対外的に周知する歴史資源・地域資源であり、今後の保存活用が期待されます。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
②歴史・文化的資源の保存・活用		
2. 施策の目的、ねらい		
<p>幾つもの時代を経て今日に受け継がれてきた文化財は、その価値を損なうことなく、次の世代へ保存継承を図ることが強く求められます。また、文化財は日出町・日出町民の誇りや魅力、活力を育む「唯一無二」の地域資源であるため、教育、観光などの諸分野と連携し、文化財の公開活用、郷土の歴史・文化、先哲の顕彰など普及啓発に取り組みます。</p>		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等		
<p>ひじまち国民文化祭において「鳥居石石丁場跡」を基軸に、石の歴史・文化を主題とする歴史講演会（約150名来場）、同遺跡の公開及び石割体験（約100名来場）を開催しました。歴史資料館（帆足萬里記念館）では、平常展の展示資料の一部入れ替えを行い更新しました。</p>		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	平成28年・29年と約2年にわたり実施してきた「鳥居石石丁場跡」の調査成果を、時機よく国民文化祭を通じて大きく普及啓発を図ることができました。	
課 題	日出町歴史資料館・帆足萬里記念館の平常展展示資料の定期的入れ替えが、計画的に実施できなかった。	
目 標	調査から普及啓発・展示公開に結びつく事業展開の構築を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	2ヶ年にわたり調査を実施し、歴史・文化財として高い評価を得た「鳥居石石丁場跡」の普及啓発企画は、ひじまち国民文化祭振興の一翼を担えたものと考えています。

基本目標 「歴史・文化的資源の保存・活用」

1. 基本的施策		
③歴史・文化的資源の愛護・啓発		
2. 施策の目的、ねらい  日出町の歴史に根差して受け継がれてきた伝統芸能（民俗文化財）は、時代や社会の急速な変化により継承者が減少し、保存継承活動の停滞・消失の危機に直面しています。日出町に受け継がれてきた地域伝統芸能の象徴として位置付け、地域や諸分野と連携して継承者の育成及び育成支援に取り組みます。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等  保存継承が危機的状況にある辻間楽について、月1回の定期的練習を実施し、八津島神社大祭奉納、また、豊岡小学校児童への体験授業を開催したほか、大分県民俗芸能フェスティバル（大分市）に出演しました。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	辻間楽について、保存継承活動を維持でき、啓発活動にも取り組むことができました。	
課 題	辻間楽について、保存継承活動参加の周知・呼びかけを行ってきましたが、数名の児童の参加に留まり、成人層の継承者不足が喫緊の課題です。	
目 標	辻間楽について、成人層の継承者の参加と育成を目指します。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	辻間楽の保存継承は、依然として児童主体で、成人層主体の人材確保・育成を強く要します。辻間楽の歴史・文化財としての価値、これを保存継承する意義を再検討し、保存継承活動の拡充・再構築を図る必要があります。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
①自主的で創造性豊かな芸術文化の振興		
2. 施策の目的、ねらい  日出町文化協会に対し各種行事への参加を促すとともに、自主企画・運営事業を推進するための支援体制を強化する。また、各種団体、グループ間の交流を促進・支援するとともに指導者の育成に努める。 また、本年度は、国民文化祭が20年ぶりに大分県で実施され「ひょうたん文化」を始めとする6つの事業を展開します。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等  ・2018ひじ産業文化まつり（11/3～4）の実施、文化協会員の作品展示等 ・国民文化祭では、「世界のヒヨウタン展」を開催、瀧廉太郎記念音楽祭では、東京オペラシンガーズのステージを披露し、フォークダンスの愛好家による祭典を実施しました。多くの方が日出町を訪れ、日出町の魅力をPRすることができました。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	今年度は、国民文化祭が開催され、福祉施設と公民館自主教室のつながりができるなど新たな文化の根を植え付けることができた。	
課 題	協会内では、会員の減少や高齢化により、活動規模が縮小したり、新たな取り組みが困難になったりしている団体がある。	
目 標	会員による自主的な取り組みや運営が出来るよう、会員の増加を図るとともに、団体間の交流を図り、協力体制を整える。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	会員数や規模の拡充はみられなかったが、活動内容を発信し、会員を増やそうとする団体の自主的な取り組みもみられ、活動に広がりができた。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
②芸術・文化の創造と鑑賞機会の充実		
2. 施策の目的、ねらい ひじ産業文化まつりを通して、町民の芸術・文化活動の場を提供する一方、講演会、音楽会などの開催により、優れた芸術文化を観賞する機会をつくります。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等 1 1～1 2月にかけ、芸能発表会、芸術作品展、カラオケ大会、短歌大会、謡曲大会、将棋、囲碁大会を開催した。 2月には芸術文化鑑賞イベントを実施し、能や狂言を鑑賞した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	ひじ産業文化まつり時や、芸術文化鑑賞イベントは多くの方に鑑賞していただき、好評であった。	
課 題	会員の高齢化や減少に伴い、会の運営に支障をきたしている。	
目 標	鑑賞イベントを楽しみにしている町民が多いので、広く意見を聞きながら要望に応えていく。	
5. 点検・評価	評価の説明	
内部評価	3	活動が十分にできていない団体もあり、会員の増加や活動の見直しが必要である。芸術鑑賞イベントは好評であるので継続していきたい。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
③ライフステージ（世代）に応じたスポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい		
町民がスポーツに何を求めているかを的確に把握し、町民がいつでもどこでも多種のスポーツに親しむことができる環境づくりのため総合型地域スポーツクラブの自立支援に努める。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等		
平成30年度は以下の24教室を実施し、町民ニーズに対応した。▼ピラティスバレトン・親子リトミック・3B体操ジュニア・バドミントン・男子新体操・エクササイズ・ヨガ・スポーツチャンバラ・スポーツライフル・なぎなた・▼スポーツ吹矢・弓道・陸上・パン作り・太極拳・女子ソフトボール・スポンジボールテニス・ちびっこ空手体操・インドアテニス・ジョギング・らくらくピラティス▼町主催事業への協力▼・ザビエルの道ウォーキング大会・新春健康マラソン大会		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	・のべ会員数が343名から333名に減少した。	
課 題	・会員数増加のための魅力ある教室の開催。 ・法人化に向けての検討。	
目 標	・生涯学習課・健康増進課及び福祉対策課との協働による事業の更なる展開及び自立に向けての計画策定。	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	健康づくりを主体とした事業を開催していくことで、多くの住民に知ってもらうことが必要。

基本目標 「芸術・文化・スポーツの振興」

1. 基本的施策		
④競技スポーツの推進		
2. 施策の目的、ねらい  体育協会加盟の競技団体並びに生涯スポーツ団体の組織強化を図るとともに連携を密にし、スポーツに関する知識の習得の機会を設けることなどにより指導者を養成し、競技人口の拡大や選手強化並びに競技力向上を目指す。		
3. 平成30年度の取組実績、事業内容等  体育協会理事会並びに体育協会部長・副部長会議の開催。 意見がなかなか出にくいので、要望書にて意見集約を行う。 日出町選手権、生涯スポーツフェスタを開催した。		
4. 成果・課題及び目標等		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民体育大会では、16チーム中10位の成績となり、昨年と同順位となり、B部残留を果たすことができた。</li> <li>・県内一周駅伝では13位から14位となった。</li> </ul>	
課 題	各競技部の要望を集約したものを理事会等で検討し、その実現に努めること。	
目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民体育大会では、1つでも多くの種目に参加できるようにする。</li> <li>・生涯スポーツの普及を図ること。</li> </ul>	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	3	県民体育大会の順位は上がったものの、組合せ抽選によるところが大きく、中期的な視野に立った組織強化と指導者・選手の育成計画が必要である。

基本目標 「グローバル人材の育成」

1. 基本的施策

①グローバル人材の育成

2. 施策の目的、ねらい

平成32年度から、小学校で外国語教育の早期化・教科化が実施されます。グローバル人材を育成する観点からも、町国際交流担当課と連携をとりながら、外国の言語や文化に接する環境を構築していくことが必要です。

3. 平成30年度の取組実績、事業内容等

今後も継続して小・中学校にALTを配置します。英語教育の充実を図るため、ALTの増員を進めていきます。

4. 成果・課題及び目標等

成 果	平成31年度のALT増員へ向け、準備中。	
課 題	小学校での、ALTの活用とともに、イングリッシュ・デイ等の実施による、異文化交流活動を推進していく。	
目 標	町内全小・中学校における外国語指導助手導入人員数	
5. 点検・評価	評価	評価の説明
内部評価	4	平成31年度に向け、ALTを1名増員。

## IV 点検・評価第三者委員会の意見

### 1 点検・評価第三者委員会委員の構成

学識経験者の選定にあたっては、日出町ゆかりの方を前提とし、色々な分野で見識の高い方の知見の活用を考慮した。

氏名	選出区分	任期
すが 菅 英一	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日
うつのみや 宇都宮 敏樹	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日
お がわ 小 川 郁	学識経験者	令和元年7月1日～令和3年3月31日

### 2 点検・評価第三者委員会会議の状況

#### ○ 第1回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和元年7月31日（水）午前10時00分～

場所 日出町中央公民館 1階 婦人研究室

- 議事 1 平成30年度事業に係る点検・評価報告書の趣旨、概要  
2 第三者委員会が作成する点検・評価の項目等評価シートについて  
3 点検・評価報告書の作成スケジュールについて

#### ○ 第2回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和元年8月21日（水）午前9時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第2会議室

- 議事 1 「点検・評価」対象事業の概要説明について

#### ○ 第3回日出町教育委員会点検・評価第三者委員会

日時 令和元年10月18日（金）午前10時00分～

場所 日出町中央公民館 2階 第2会議室

- 議事 1 「点検・評価」対象事業の意見について

### 3 平成30年度事業 点検・評価第三者委員会委員の意見（総評）

#### （1）全体意見

点検評価シートは、目的やねらいに対する取り組み実績や、事業内容等が分かりやすく整理され、それに対する「成果」「課題」「目標」がまとめられており、P D C Aサイクルをもとによりよい事業を推進していくこうとする姿勢が示されている点が評価されます。

評価に点をつけることは、あまり意味がないようにも思われますが、点をつけるとしても全体的にやや甘いと感じました。

施設整備について、義務教育施設の耐震補強などは完了しましたが、教室へのエアコンの設置など教育環境の整備に多額の費用を要しますので、計画的な事業実施に努めるとともに、適切な維持管理を実施することを要します。平成32年度までに学校施設の長寿命化計画を策定の予定となっていますので、維持管理費・更新費用の平準化を図り計画的な施設の老朽化対策を図っていただきたい。

学校給食センターの建設については、多額な財政負担を伴うが、子どもたちの安全・安心の学校給食には必要不可欠であり、長年の懸案事項です。関係機関との連携、計画的な事業実施に努め、子どもたちにとって楽しい学校給食となるよう早期完成を望みます。

学校運営協議会の設置から一定の年数を経過しました。それぞれの学校の課題や運営に対しての見直しを行い、学校・地域・保護者の連携に無理のない協議会の運営に努めていただきたい。

事業の実施については、おおむね計画どおりに推移していると思われる所以今後も、教育施設の適切な維持管理に努めるとともに教育振興計画に掲げるそれぞれの諸課題、目標に向け、努力していただきたい。

教育は、すぐに結果が出るものではないので、地道な努力と継続が必要だと思います。

#### （2）各基本目標意見

##### 1 【人権を尊重する社会づくり】

全国的には、いじめ・暴力行為・ネグレクト等「いのち」そのものに関わる事例が報告されています。

日出町では人権教育推進協議会が組織され、計画的に事業が推進されています。まずは知識からという点においては、人権学習参加者数が増加していることで、成果を認められると思います。しかし、これが個人の意識として根付いているかは甚だ疑問です。今後も学校・家庭・地域と連携しながら学習機会の充実に努めて人権意識や人権感覚を高めていっていただきたい。

人権フェスティバルの開催ついても、商工会、企業への呼びかけなど、人権問題への意識の拡大のために、さまざまな行事を通じ啓発・情報発信をすることも必要であると思います。

## 2 【幼稚園教育の充実】

幼稚園教育では、一年保育という限られた中、小学校への接続への役割が非常に重要であり、子供たちにとって成長過程の大きな記憶に残る園生活であると思います。幼児期の重要性を周りの大人が再認識し、学んでいく場が増えることを望みます。

家庭・地域・小学校との連携も継続、発展しており、現場レベルで情報共有や情報発信が図られています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」は、ゴールではなく続していくものなので、保護者や小学校の先生方(低学年の先生方だけでなく)との連携を深めるとともに、常に教職員の資質向上に努め、保護者への情報発信など、充実した幼稚園教育をしていただきたい。

今後は、保育料の無償化など大きく変革することが予想されるため、関係法令を遵守し保護者のニーズを的確にとらえ、保育環境のさらなる充実を図っていただきたい。

施設設備面においては、全園で緊急通報装置事業が完了するなど、安全・安心な施設環境の整備が進んでいます。建物・備品など園児にとって安全・安心な保育環境に努めていただきたい。

## 3 【義務教育の充実】

学力や体力に関する客観的な調査結果（国・県・町）をもとにした細やかな分析が行われており、それが具体的な授業実践や授業改善へつながっています。それらの成果が学力や体力の向上として数値上にも表れています。

また、新学習指導要領への移行など、学校が新たな取り組みを求められることが多くなっています。今後も、委員会と学校、家庭、地域との連携を密にして教育のさらなる充実を図っていただきたい。

小中学校の 9 年間の学校生活は、子どもたちにとって学力定着等の成長過程のなかでの重要な時間となっています。年々変化する社会に適応していくには、ＩＣＴなどを活用した教育環境の充実が望されます。

体力・学力の向上や支援を必要とする児童生徒など様々な子どもたちが生活するなか、きめ細やかな指導・支援に今後も努力していただきたい。

結果重視ではなく、課程を重視し、子供たちのしっかりした土台づくりをお願いします。自由な時間が多い小学校の間は、読書や外遊び等、様々な体験をしておく方がよいと思います。低学力層の底上げのためには、塾の指導を学ぶことも一つの方法かもしれません。

## 4 【社会教育の振興】

生涯にわたる学習機会の確保に、多くの講座や教室、学級等が計画的に実施されており、子ども会などの取り組みは一定の成果を上げています。しかし教室が開かれる時間が限られているため、幅広い世代の参加などの課題は残されています。また初心者では行きづらい点もあるので、気軽に行けるような雰囲気作りも必要です。図書館でのイベント等は、利用拡大をはかる努力がみられますが、職員の方のさらなる研修を期待します。

世代に応じた学習機会の提供のため、講師の広がりや幅広い世代の参加等の課題に向け、町民の

ニーズを把握し、それに極力応えられるような工夫が必要です

インターネットなど、家庭にいながら情報が得られる現在、これらを利用した情報発信を促進し、興味の持てる魅力ある情報提供をすすめていただきたい。

## 5 【歴史・文化的資源の保存・活用】

文化財の保存活用については、保護評価に複数年を要することと、保存・活用について具体的な利用計画などを明確にし、調査、研究費用の確保に努めてほしい。また辻間楽は豊岡だけでなく、他の地区にも広げていく必要があるのではないか。

目標としている、中・長期的なスケジュールを組み立て、優先順位など計画書の作成も視野に事業の展開を求める。

新たな遺跡調査成果「鳥居石石丁場跡」の普及啓発企画のように、文化財の情報を発信するなど、積極的に日出町の歴史や文化の継承に向けて文化財保護を進めています。

歴史資料館については、さらなる活用や伝統芸能の保存継承活動に引き続き取り組んでほしい。

## 6 【芸術・文化・スポーツの振興】

芸術文化の振興については、それぞれの趣味や嗜好が多岐にわたり、後継者不足や高齢化によって運営に支障をきたしていることから、これまでにない、新たな視点での芸術の鑑賞や文化の開催も考えられます。優れたアーティストの芸術や文化の開催によって若い世代の参加を促す事業展開も視野に検討していただきたい。団体を継続するには、人材の掘り起こしと、若い方々が活躍できるように年配の方々の配慮も必要だと思います。また観賞イベントは、回ごとに世代のターゲットを絞って企画するなどの工夫も必要だと思います。

スポーツは、健康・体力づくりの土台であり、豊かな生活につながる手段です。幼少期は勝負にこだわりすぎずに、総合型地域スポーツクラブ等の事業を継続させライフステージに応じた環境を確保していくことが望まれます。

## 7 【グローバル人材の育成】

小学校での外国語教育が教科化されることから、関係機関と連携を取りながらより一層の異文化交流の推進に努めていただきたい。

グローバルな人材を育成するには、自分の国を知ることからだと考えます。外国語とともに、まず正しい日本語、国語教育をしっかりとお願いしたい。

今後の国際交流の活発化に備えるためには、英語等のコミュニケーション能力向上が求められます。現在計画されているALT増員配置や支援スタッフ体制づくりを積極的に進めてほしい。